

平成30年度(2018年度)

管理事業名	公民館事業				総合計画の体系	第4章 個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 第2節 生涯にわたり楽しく学べるまちづくり ほか
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 3 公民館費
部局名	地域教育部	予算執行所属	まなびの支援課			
予算大事業名 施設管理事業 公民館運営事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)教育費(項)社会教育総務費(目)公民館改修費 地区公民館改修事業					
<b>事業の目的と概要</b>						
市民に地区公民館(29館及び1分館)を身近な生涯学習の場として安全・快適に利用してもらえるよう施設の維持管理を行います。 市民の自主的な学習・文化活動の支援を行うとともに、高齢化問題や防災等の現代的課題講座及び地域住民の学習ニーズに対応した主催講座を実施し、市民に学習機会を提供します。 地域文化の振興と市民の生涯学習に対する意欲の高揚、地域住民の親睦を図るため、29地区において地区公民館文化祭実行委員会が開催する地区公民館文化祭事業について補助を行います。 老朽化した公民館について、年次的に改修を実施し、安心・安全でバリアフリー対策を考慮したより良い施設づくりを推進します。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
施設利用者数 (主催講座除く)	人	381,529	339,239	334,131	地区公民館の貸出施設の利用者数
主催講座参加者数	人	53,064	57,431	51,706	地区公民館主催講座事業の参加者数
主催講座開催回数	回	1,849	1,984	1,859	地区公民館主催講座事業の開催回数
文化祭来館者数	人	42,139	37,441	37,843	地区公民館文化祭事業来館者数
成果の説明	平成26年度から、高齢化問題や防災等の現代的課題講座に加え、専門的な知識を持った市職員を活用した講座の企画に力を入れるなど、公民館における主催講座内容の充実に向けてありますが、平成30年度は前年より参加者数が減少しました。災害等の影響もあるものの、施設利用者も前年に比べ減少し、利用の促進が課題となりました。地区公民館の改修事業では、南吹田地区公民館、山手地区公民館の建築工事を実施し、移転が完了しました。他に、老朽化に対応した維持補修工事等として、吹六地区公民館の耐震補強工事、江坂大池地区公民館の大規模改修工事を実施しました。これらの改修等工事により、安心安全で高齢者や障がい者にやさしい生涯学習施設の整備・充実に取り組みました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	879	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	3,712	2,001	2,820	819
経常収入 小計(a)	4,591	2,001	2,820	819
給与関係費	81,409	83,240	96,245	13,006
物件費	167,045	132,881	143,741	10,861
維持補修費	88,837	59,759	32,331	△27,429
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	28,834	27,793	17,979	△9,814
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	49,807	52,090	59,101	7,010
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,874	3,509	4,963	1,454
退職手当引当金繰入額	3,882	5,757	17,841	12,084
支払利息	7,998	7,478	7,091	△387
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	430,686	372,507	379,291	6,784
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△426,095	△370,506	△376,472	△5,966
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	389	-	△389
特別収入 小計(d)	-	389	-	△389
特別費用				
固定資産除売却損	0	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	0	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△0	389	-	△389
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△426,095	△370,117	△376,472	△6,355
一般財源充当額	495,174	389,957	705,920	315,963
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	69,079	19,840	329,448	309,608

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	主な支出:地区公民館管理業務委託料 59,192千円 光熱水費等22,503千円
維持補修費	H30年度は地震・台風の被害により各地区公民館の修繕が増加したが、H29年度に南吹田地区公民館の土木工事及び管更生工事、吹田東地区公民館外壁改修工事が完了したため維持補修費全体では減少

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,929	2,001	2,820	819
行政サービス活動支出	380,544	317,796	306,195	△11,601
行政サービス活動収支差額	△377,615	△315,795	△303,376	12,419
投資活動収入	-	389	-	△389
投資活動支出	80,947	63,859	357,293	293,434
投資活動収支差額	△80,947	△63,470	△357,293	△293,823
財務活動収入	-	34,600	180	△34,420
財務活動支出	36,612	45,291	45,431	139
財務活動収支差額	△36,612	△10,691	△45,250	△34,559
収支差額 合計	△495,174	△389,957	△705,920	△315,963
一般財源充当額	493,484	389,957	705,920	315,963
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動支出) 南吹田地区公民館・山手地区公民館建設 江坂大池地区公民館大規模改修に関する支出
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人当たりのコスト	平成28年度	476,732 人	903 円	地区公民館利用者1人あたり895円のコストがかかっています。経常費用の増加、利用者の減少により、前年に比べて37円増加しました。
	平成29年度	434,111 人	858 円	
	平成30年度	423,680 人	895 円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	48,939	52,457	3,518
未収金	-	-	-	地方債	24,525	26,588	2,064
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	3,509	4,963	1,454
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	20,906	20,906	-
事業用資産	3,247,269	3,539,518	292,249	固定負債	570,208	535,435	△34,773
有形固定資産	2,004,435	2,004,435	-	地方債	260,450	234,042	△26,408
土地	2,004,435	2,004,435	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	1,164,609	1,535,082	370,474	退職手当引当金	37,978	50,519	12,541
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	78,225	-	△78,225	その他固定負債	271,780	250,874	△20,906
無形固定資産	2,253	4,227	1,974	負債の部合計	619,147	587,892	△31,255
インフラ資産	-	-	-	純資産	2,631,455	2,960,684	329,229
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	出資金	-	-	-
重要物品	1,080	4,831	3,751	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	-	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	3,250,602	3,548,576	297,974
基金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	3,250,602	3,548,576	297,974
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

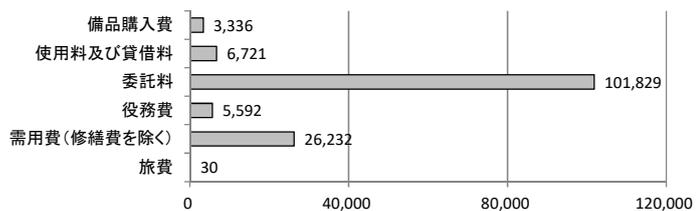
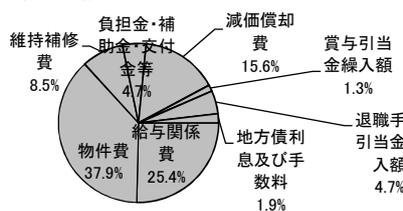
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	7.6人	29人	日	450人	119,049
給与関係費等	79,770千円	20,497千円	千円	18,782千円	
内、時間外勤務手当	2,278千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	南吹田地区公民館・山手地区公民館の建設による増
重要物品	山手地区公民館建設に際し、可動式舞台装置の取得による増

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹一地区公民館ほか29施設
取得年月日	昭和36年12月13日(吹一地区公民館ほか)
建物・工作物の取得価額	2,723,253千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,188,171千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		3.9	2.6	1.2	△ 1.4
施設老朽化比率		46.9	49.2	43.6	△ 5.6
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.1	91.3	99.6	8.3
経常費用対公共資産比率		18.7	16.2	13.9	△ 2.3

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は56.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費143,741千円(37.9%)、維持補修費32,331千円(8.5%)、給与関係費96,245千円(25.4%)となっています。物件費の主な内訳としては、地区公民館管理業務等委託料が約71%、光熱水費等の需用費が約18%を占めています。平成30年度地区公民館全体の老朽化比率は、平成29年度に比べ5.6ポイント減りました。個々の公民館の老朽化比率の平均は59.4%(平成20年度以降に建替えを行った4地区公民館を除いた個別の老朽化比率の平均は71.4%)となり、建替や改修工事を数館実施しているものの、市保有施設全体の老朽化比率56.2%と比較して老朽化が進んでいる施設が多数を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

事業コストの37.9%を委託料や光熱水費等で構成される物件費が占めていますが、地区公民館の窓口受付業務、清掃業務や各種保守点検業務等、地区公民館を安全・良好な状態で維持し市民へ提供するためには、必要な経費であると考えています。事業コストの8.5%を各地区公民館の修繕を実施したため維持補修費が占めています。また、南吹田地区公民館、山手地区公民館の移転及び江坂大池地区公民館の改修工事を実施するなど、老朽化に対応した移転建替や維持補修工事の実施を進め、施設の長寿命化に努めているところですが、他公民館については、依然老朽化が進行しており、経年劣化が原因による修繕維持補修(雨漏り修繕・外壁補修)等に関するコストが今後も増加することが予測されます。維持補修等にかかる経費をできるだけ平準化するために維持補修計画を立て、計画的に予算確保を行い、適切な時期に維持補修等を実施していくことが必要と考えています。事業コストの4.7%を負担金・補助・交付金が占め、その内、55.5%を主催講座講師謝礼金が占めています。引き続き専門的な知識を持った市職員を活用して、気軽に行うことのできるストレッチ体操や、地域の歴史といった講座を展開し、限りある講師謝礼金を有効に活用していきたいと考えています。社会教育施設としての公民館の役割を果たすため、多様化する現代的な課題や社会的課題をテーマにした講座に取り組みと共に、講座を企画する企画運営委員への研修や情報提供を充実させ、市民にとってより魅力的な講座が提供できるようサポートしていきたいと考えています。